

## 子どもたちの学びと育ちを支えるために

新型コロナウイルス感染症の中であっても、教育委員会では子どもたちの学びと育ちを支えるために小・中学校と連携して対応を進めています。各ご家庭でも引き続き感染症対策をしていただき、小・中学校での教育活動についてご協力をお願いします。

今回は「いま」進めている小・中学校での取り組みを、年6回発行している「教育委員会だより」の特別号として紹介します。



多摩市ユネスコスクールイメージキャラクター「ゴーヤン」

「教育委員会だより」は、公式ホームページや多摩市電子図書館でもご覧いただけます(奇数月の中旬ごろ発行)

公式ホームページ

多摩市電子図書館


☎教育振興課 (338)6872、FAX (337)7620

## GIGAスクール構想 多摩市でも本格的なタブレット端末の活用が始まりました

GIGAスクール構想とは、文部科学省による児童・生徒1人1台のタブレット端末を整備することを目指した構想です。

いよいよ多摩市でも令和2年度に必要な数のタブレット端末を配備し、今年度から本格的な活用が始まりました。


1人1台のタブレット端末の活用が始まって、学校での学び方がどう変わったのか、先生や児童の声を聞いてみました。



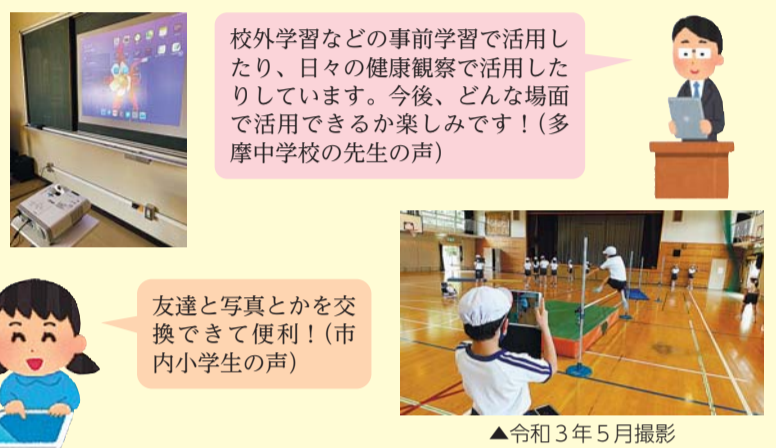
調べ学習をするときに一人で自由に使えるから、より詳しく調べられるようになった(市内小学生の声)

1人1台になって、いろいろな人の意見が分かるようになった(市内小学生の声)

総合的な学習の時間、社会などの調べ学習がやりやすくなりました。学習用アプリを使い、画像・文章・グラフなどを効果的に使って発表していますよ!(愛和小学校の先生の声)




▲令和3年4月撮影



校外学習などの事前学習で活用したり、日々の健康観察で活用したりしています。今後、どんな場面で活用できるか楽しみです!(多摩中学校の先生の声)

友達と写真とかを交換できて便利!(市内小学生の声)

▲令和3年5月撮影



自分が知らないこともタブレットで調べたりして授業の視野が広がった(市内小学生の声)

多摩市教育委員会ではすべての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現を図っていきます。

☎教育指導課 (338)6873、FAX (337)7620

## 不登校総合対策 ～一人ひとりの子どもたちに安心できる学校生活を～

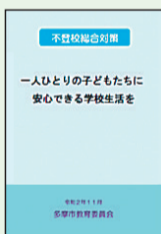
不登校の子どもたちの人数は、近年、全国的に増加の傾向にあります。

こうした不登校の子どもたちの支援を充実させるために、多摩市教育委員会では令和2年11月に4つの目標からなる「不登校総合対策」を策定しました。

### 不登校の子どもたちへの支援の基本的な考え方

不登校はどの子どもにも起こり得ます。また、不登校には人間関係の不安など、いろいろな要因があります。だからこそ、不登校の子どもたちの支援は、一人ひとりの状況に応じて、心に寄り添いながら「安心」を提供していくことが大切になります。

そして、子どもの成長に関わるすべての人がつながりを深め、学校や家庭・地域を子どもたちにとって「安心できる場所」とし、社会的な自立に向けて支援していくことが重要になります。




▲詳細は公式ホームページをご覧ください

### 4つの目標と12の対策

#### 目標1 学校の対応力の向上

- 対策① 共通の指針やガイドラインの整備
- 対策② 的確なアセスメントのための手だての充実
- 対策③ 教育相談の充実
- 対策④ 家庭支援の充実



#### 目標2 コミュニケーション能力の向上を促す指導の充実

- 対策⑤ 不登校児童・生徒への訪問指導・支援の充実
- 対策⑥ 各学校、適応教室におけるソーシャルスキルトレーニングの充実



#### 目標3 社会的自立を促す指導の充実

- 対策⑦ 各学校、適応教室におけるキャリア教育の充実
- 対策⑧ キャリアガイダンス機能の充実



#### 目標4 学習環境、学習指導・支援の充実

- 対策⑨ 中学校不登校特例校の設置の検討
- 対策⑩ 適応教室における学習支援の充実
- 対策⑪ 家庭における学習支援の充実
- 対策⑫ 各学校における補充教室の充実



☎教育指導課 (338)6913、FAX (337)7620

## 水泳授業が変わる！ 安心・快適・上達

令和3年度から市立小学校3校で、市内の公営・民営の屋内プールを活用した水泳指導を試行的に実施しています。各施設の指導員と教員とが協力して子どもたちの指導を行っています。

雨天・猛暑などの天候に左右されない、教員と民間事業者それぞれの強みを生かしたチームティーチングによる水泳指導が可能となりました。

子どもたちからは「シャワーやプールの水が冷たくないから水泳の授業が楽しい」「雨の日でもプールが中止にならないから嬉しい」「自分のレベルに合わせて練習できる」といった声が届いています。

指導は個々の泳力に応じた少人数グループによる指導が中心です。各グループに指導員が付き、子どもたちの能力に応じた指導を行うため、一回の授業で大きく泳力を伸ばす子どももおり、プールでは子どもたちの笑顔がはじけていました。

☎教育指導課 (338)6913

